

# NPO法人ふくてっく 第19回総会議事録

## 会員出席状況報告

中北事務局長は、現在会員数35名中、会員26名（うち委任状提出6名）の出席があり、総会が成立することを報告した。

## 議長選出

中北事務局長は、総会を開始するにあたり、議長を小川理事に託したい旨諮ったところ、全員意義なくこれを承認した。

## 開会の宣言

小川理事は議長席につき、13時36分に開会を宣言した。

## 書記および議事録署名人の指名

議長は、議事録作成を中北会員に指示し、議事録署名人として後藤会員および寺岡会員を指名した。

# 1号議案 令和元年度活動報告

理事長総括

(小川理事長)

令和元年度、ふくてっくの活動としては、前半は例年に変わらず順調に元気に取り組んでいましたが、令和2年に入ってからの後半は新型コロナウイルスの影響でほとんどの活動が出来ない状態となりました。改めて私達の活動というのが、高齢者、障がい（児）者、幼・児童など、健康面に注意が必要な方々と接する活動が多い事が窺えます。到底リモートでは出来ない人と人がコミュニケーションをとる事が重要な活動であることを再認識する事になりました。

このコロナ禍を受けて、現在も少なからず活動に影響が出ていますが、今後はコロナに関わらず感染症に関する注意に意識を向けて、関わる方々へのリスク回避を最優先に考えて取り組んでいこうと思います。ふくてっくも高齢化しており、元気で安心な活動については、当然ですが会員の身体が資本となりますので、十分気を付けて、無理をしない、勇気をもって自粛をする等、自己管理で乗り切りたいと思います。乗り切った先の次年度総会では、活発な活動報告が出来るよう、団結し安心の笑顔で締めくりたいと思います。

事務局報告

(中北事務局長)

## ◆定例会記録

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
R1/7/6	富田林じないまち 講話と見学	じないまちガイドさん	
R1/8/3	第18回定期総会開催		<ul style="list-style-type: none"> <li>・8/3午前中に理事会開催</li> <li>・8月末にATC事務所を移転 11階→5階</li> </ul>
	3部会の活動紹介	各部会リーダー	
R1/9/7	コピーライターの仕事	森島 裕美子氏 企画編集事務所 サヴァ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソンメンバーが各地でのマラソン、リレーマラソン大会に参加</li> </ul>
R1/10/5	施設見学会 「エイブリー製作所」 (社福)大阪重症心身障害児者を支える会	中北 清会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽曳野市立駒ヶ谷幼稚園で親子木工開催</li> <li>・大阪市住まい情報センター 出前講座「たかが手すり・されど手すり」開催</li> </ul>
R1/11/2	手すりについて考える会のこと ～当事者の声から考える～	障害者自立支援センター 中野 里佳氏他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポジティブ生活文化交流会参加</li> <li>・市立総合医療センター院内学級で木工授業開催</li> <li>・池島ふれあいまつりで自由木工開催</li> </ul>
R1/12/7	防災ワークショップ ～OSAKA防災タイムアタック～	清水 麗子会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌97号を発刊</li> <li>・大阪市住まい情報センター 出前講座「たかが手すり・されど手すり」開催 「介護保険による住宅改修+手すりの話」</li> </ul>
R2/1/11	親睦会（学習会はなし）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市住まい情報センター 出前講座「たかが手すり・されど手すり」開催</li> </ul>
R2/2/1	たかが手すり・されど手すり ～手すりの役割、種類、高さとは～	東大阪部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2/1午前中に理事会開催</li> <li>・いいもり山にて木工材料調達作業</li> </ul>
R2/3/7	定例会中止 (新型コロナウイルスにより)		
R2/4/4	学習会中止 (新型コロナウイルスにより)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款と運用規定について</li> </ul>
R2/5/2	定例会中止 (新型コロナウイルスにより)		
R2/6/6	にこにこタイム ～一言語りましょう～ (学習会はなし)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌98号を発刊</li> </ul>

## ◆総会記録

開催日時	場所	議事
第18回 定期総会 R1.8.3 13:38~15:00	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室 正会員総数37名 出席26名 (うち委任状出席5名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H30年度活動報告・同決算 承認</li> <li>・ R1年度活動計画・同予算 承認</li> <li>・ 役員改選の件</li> <li>・ 法人所在地変更の件</li> </ul>

## ◆理事会記録

開催内容・日時	場所	議事
理事会 R1.8.3 10:00~12:35	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H30年度活動、決算報告</li> <li>・ R1年度活動、予算計画</li> <li>・ 役員改選について</li> <li>・ 法人所在地の変更と諸手続きについて</li> </ul>
理事会 R2.2.1 11:00~12:00	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R1年度上半期の活動報告、下半期の活動展望</li> </ul>

# 1. ふくてっくのつどい

(小川会員)

ものづくり活動		令和元年度事業報告 (R1/7/1~R2/6/30)	
A: 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
№	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		成果
1	幼稚園親子木工教室	10/30	子ども達に「木に触れ合う」機会を作り、工作を通じて工具体験を目的に親子参加の時間を作る活動。 (池端、小川、鎌田、荻田、佐久川、島村、清水、曾我部、寺岡、春岡、松本、竹内 計12名参加)
	羽曳野市立駒ヶ谷幼稚園		
	上記幼稚園 (羽曳野市)		
2	院内学級授業	11/14	入院している子供たちに少しでも自然に触れ合う、少し日常と違う体験を提供する活動。 (大塚、小川、鎌田、荻田、佐久川、島村、曾我部、山本 計8名参加)
	あそぼっくる		
	大阪市立 総合医療センター 光陽総合医療分教室		
3	39回池島ふれあいまつり	11/23	地域の「ふれあいまつり」での木工工具体験と自由な発想による工作製作。 (有馬、上田、小川、鎌田、荻田、佐久川、島村、清水、曾我部、寺岡、春岡、松本、山本 計13名参加)
	社会福祉法人海の子の家		
	池島公園		
1年に一度、地域交流で再会する市民のみなさんは、テーマを見つけ昨年とは違う作品作りに熱心です。片手に乗る小さな物から、両手で抱えないと持てない物まで、材料を豊富に用意し、自由木工を十分楽しんでもらう事が出来た。			

B: 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
№	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		成果
1	材料調達	数回	自然木の調達  各活動の為の材料調達として生駒いいもり里山で作業をする。
	複数参加		
	生駒いいもり里山		

ものづくり活動		令和元年度収益費用報告 (R1/7/1~R2/6/30)		
事業・部会 №	事業名	収益	費用	差益
A-1	幼稚園親子木工教室	20,000	12,340	7,660
A-2	院内学級授業	5,000	17,950	△ 12,950
A-3	39回池島ふれあいまつり	25,000	29,180	△ 4,180
合計		50,000	59,470	△ 9,470

たいけん活動		令和元年度収益費用報告 (R1/7/1~R2/6/30)		
B: 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)				
№	事業名	日付 期間	事業目的・内容等	
	相手先・依頼主 場所		成果	
1	カニご賞味会&交流会	3/20	会員間交流  旬の食材を食しながら、交流を図る	
	9名			
	岡邸			

## 2. 東大阪部会

(清水会員)

東大阪部会は、東大阪の委託事業として始まった適正検証事業も14年目にはいりました。H31年度から介護保険住宅改修においては、市のスタンスが現場目線から書類優先の対応と大きく舵取りが変わっています。当会としては、利用者ファーストの考えを基に適正化検証に関わっていますが、市の方針にメンバーのモチベーションは下がっています。今年度も継続して事業を展開していきますが、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。今年4月スタートした直後の緊急事態宣言により現地検証は5月後半まで中断され、その間は郵送による書類審査を実施しました。寝屋川市への支援事業は、介護支援専門員の研修会も登録者研修の一環として位置づけられ4年目に入り研修会を実施しています。H30年度から市民の住環境改善に当事者としての気づきを促すため、大阪市住まい情報センターとのタイアップ出前講座/地域に出向いての市民啓発講座「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」を実施しています。出前講座を通じて市民への啓発の必要性を強く感じています。

東大阪部会		令和元年度事業報告 (R1/7/1～R2/6/30)	
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果
1	東大阪巾里度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業 東大阪市 東大阪市内	R1年 7/1～ R2年 6/30	目的：障害者の住環境のバリアフリー化を促進する。 障害者の住環境が改善され、継続して在宅生活を送る事ができる。 検証案件：R1/7～R2/6 15案件 (H31/4～R2/3 16案件) 事前相談会：R1/7～R2/6 4件/4日 (H31/4～R2/3 11件/7日) OT検証：R1/7～R2/6 10件/5日 (H31/4～R2/3 12件/7日)
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業 東大阪市 東大阪市内	R1年 7/1～ R2年 6/30	目的：対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。 高齢者の自立した日常生活を継続し、介護者の負担を軽減する。 検証案件：R1/7～R2/6 単独事前&事後&再152件 併用事前&事後8件 (H31/4～R2/3 単独事前&事後&再件239件 併用事前&事後12件)
3	東大阪市介護保険住宅改修研修会 東大阪市 東大阪市内	R1年 8/21.28 9/25	目的：高齢者等の生活の質の向上及び自立を支援する住環境整備のスキルの向上。 高齢者の安心・安全な暮らしを実現すると共に、介護支援専門員の質的向上、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。 ■施工業者登録説明会及び研修会 テーマ「喜ばれる住宅改修をめざして」 会場:男女共同参画センター イーコラムホール 8/21講師:山田・曾我部 参加151社 8/28講師:山田・春岡 参加62社 ■福祉用具・住宅改修研修会 テーマ「住環境整備とケアマネジメント」 会場：市庁舎18階会議室 講師:清水・三浦 (株)シャカリカ) 参加80名
4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業 寝屋川市 寝屋川市立保健福祉センター	R1年 8/26	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。 施工事業者・介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。 ■給付券方式施工登録事業所研修会第1回10:00～11:30第2回15:00～16:30 テーマ「申請書類の注意点/理由書の作成」講師:清水 参加①57社②40社 ■ケアマネ研修会 13:00～14:30 テーマ「施工業者とのコミュニケーション」講師:寺岡 参加22名
5	大阪市住まいの情報センター・出前講座 市民 大阪市内	R1年7月 ～ R2年3月 10/14 1/22	目的：高齢者やその家族が自立した生活を継続するために必要な住環境改善について知識を有し、主体的に取り組む事を目指す テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」 高齢者の身近なテーマから、住環境改善の知識を有し主体的に住環境整備に関わり、安心・安全な暮らしを継続する。 10/14「たかが手すり されど手すり」手すりを考える会 参加20名 12/18「たかが手すり されど手すり」手て手とハウス 参加30名 12/27「介護保険の住宅改修+α」大阪重症心身障害者を支える会 参加15名 1/22「たかが手すり されど手すり」西成区老人福祉センター 参加者40名

## B：部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

№	事業名		日付 期間	事業目的・内容等	
	相手先・依頼主	場所		成果	
1	定例会(月1回開催)		R1年7月 ～ R2年6月	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討 出席者：7/20 7名・8/17 9名・9/21 5名・10/19 10名・11/16 9名 12/21 11名・ 1/18 8名・2/15 9名・3/21 10名・5/6 9名・6/20 9名	
	検証メンバー 大阪市立社会福祉センター・ ATCふくてつく事務局他		第3土曜 12回	チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する	

## R1年度東大阪検証活動 作業担当報告

月	検証 活動日	検証 記録	改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてつく 定例会	その他 活動予定
	介護住介：木曜 ゴシックは 水曜 改造助成： 第1・3木曜	集積 送信	第3 木曜	担当	作成 連絡	第3 土曜	議事 進行	記録	発表担当	
6	4.11.18.25	春岡	7/18	春岡	7/11 7/25 小川	7/20	山本	曾我部	春岡「みんな知っている？こんなマーク」	
7	1.8.22.29	清水	8/22	山本	8/8 8/22 山本	8/17	川北	清水	8/3なし	・8/21.28介護住改登録説明会及び研修会、 ・8/26寝屋川研修会
8	5.12.19.26	寺岡	9/19	寺岡	9/12 9/26 川北	9/21	山本	寺岡	寺岡「東大阪部会は体力勝負」	・9/25東大阪ケアマネ講習会
9	3.10.17.24.31	大塚	10/17	大塚	10/10 10/24 小川	10/19	川北	大塚	大塚「東大阪市観光ガイド」	
10	7.14.21.28	川北	11/21	中止	11/14 11/28 山本	11/16	山本	川北	川北「ラグビーワールドカップ2019花園ラグビー場」	
11	5.12.19.	鎌田	12/19	中止	12/12 川北	12/21	川北	小川	曾我部「脳トレ」	
1	9.16.23.30	磯田	1/16	中止	1/9 1/23 小川	1/19	川北	磯田	1/4なし	
2	6.13.20.27	後藤	2/20	中止	2/13 2/27 山本	2/15	山本	後藤	磯田	
3	5.12.19.26	小川	3/19	中止	3/12 3/26 川北	3/21	山本	小川	後藤	
4	2.30	鎌田	4/16	中止	4/9 4/23 中止	4/18	中止	中止	後藤「東大阪市・大阪市・堺市を比べてみよう」	
5	14.21.28	山本	5/21	中止	5/14 5/28 中止	5/16	山本	春岡	中止	
6	4.11.18.25	春岡	6/18	中止	6/11 6/25 中止	6/20	川北	山本	春岡	

※「活動予定/作成・連絡」は、上記以外の活動日は清水が担当。

東大阪部会

令和元年度収益費用報告 (R1/7/1~R2/6/30)

事業・部会 №	事業名	収益	費用	差益
A-1	東大阪市高齢者・重度障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	534,400	2,373,983	770,887
			諸謝金 2,027,280	
			印刷製本費 7,969	
			通信運搬費 4,534	
			消耗品費 63,900	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	2,610,470	旅費交通費 241,769	
			会議費 14,100	
			租税公課 3,000	
			支払手数料 11,431	
A-3	東大阪市介護保険住宅改修研修会	179,600	180,000	△ 400
			諸謝金 162,720	
			旅費交通費 17,280	
A-4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	108,000	103,800	4,200
			諸謝金 96,000	
			旅費交通費 7,800	
A-5	大阪市立住まい情報センター ・出前講座	-	52,320	△ 52,320
			諸謝金 48,000	
			旅費交通費 4,320	
合計		3,432,470	2,710,103	722,367

21.05%

諸謝金	2,334,000
旅費交通費	271,169
消耗品費	63,900
印刷製本費	7,969
通信運搬費	4,534
会議費	14,100
租税公課	3,000
支払手数料	11,431

### 3. こむねっと部会

(中北会員)

#### ◆総括

計画	実績評価
<p>◆福祉サービス第三者評価事業の継続的発展を目指す。</p> <p>◆りすくのつく事業については、BCP（SCP）との連携も踏まえつつ、今期においては少しでも前進を図りたい。</p>	<p>◆福祉サービス第三者評価事業については、児童養護施設7件、障害福祉施設2件、高齢福祉施設1件と、大阪市一時保護所の評価実績をあげた。（計11件は過去最高）評価メンバーも増員しつつ、体制の充実を図ることができた。また、中北は7月の指導者研修にも参加して第三者評価調査者連絡会（通称「第三連」）に加入、大阪府の評価調査者養成研修講師を務める等、大阪府社協が退場した穴を一部カバーしてきた。</p> <p>◆りすくのつく事業およびBCP研究会、その他外部連携活動については、コロナ禍の影響もあり、残念ながら停滞気味となっている。</p>

### こむねっと部会

令和元年度事業報告 (R1/7/1~R2/6/30)

#### A：事業活動

(有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)

№	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
		場所	
1-1	福祉サービス第三者評価 大阪府・評価機関	通年	大阪府地域福祉推進審議会および評価機関連絡会  令和元年度も平成29・30年度に引き続き地域福祉審議会および第三者評価基準等部会の開催はなかった。 大阪府の認証評価機関は3機関増加し、18機関（うち15機関に参加している）となった。 連絡会は年2回の定例開催（7月と2月）を続けている。 令和元年度も全社協主催の普及協議会、評価調査者指導者研修に参加した。
	大阪府庁ほか		
1-2	福祉サービス第三者評価 福祉事業所	通年	第三者評価活動  令和元年度は、11件の評価を完了（平成30年度の6件から増加）。さらに令和2年度の取組となる件の受注、ガイダンス等の進行がすでに7件（すべて社会的養護関係施設）を数え、さらにいくつかの問い合わせを受けている。
	大阪府・兵庫県・奈良県		
2	SCP研究会 BCP研究会参加団体	通年	サービス・コンティニューイティター・プランニング事業  ゆめ風基金、PARTY・PARTY等とともに、災害時BCP研究会に参画（第4金曜日） 令和元年度は、後半コロナ禍の影響で会議の開催が滞っている。
	大阪府内		
3	りすくのつく ゆめ風基金	通年	障害者居宅の防災支援活動  ゆめ風基金サイドの担当者の体調不良や、年度後半はやはりコロナ禍の影響もあり、活動停止状況。
	大阪府下		
4	外部連携		直ちに具体的なプロジェクトを企図するものではないが、諸団体等との連携を深め、ネットワークを構築する  【ボラ協】 研修会等の企画に随時参加してきたが、年度後半はコロナ禍の影響による行事中止が多くなったが、ネットやメール等によりメンバー間の情報共有は図られている。連携を深めたい。 【NPOセンター】 相互の情報共有や協働の取組がめっきり低調となっている。 【その他団体】 ちゅうぶ、ばあとなあとの2団体とは中北が監事、運営委員として関係しつつ、こむねっととの協働課題を視野に入れ、障害福祉分野とのネットワークの深化を図っている。当事者中心の団体として連携の意義が高い。 そのような中で、精力の実効性を高めるため、拡散した関係性の整理にも着手し、草の根共生会とひまわり園の評議員は辞退することとした。また、奈良県手をつなぐ育英会とはその後、縁を切っている。 一方で新たに奈良市で発足した（社）奈良市手をつなぐ親の会・奈良美鹿の会の創立役員に加わっている。 一からのスタートで、他に類を見ない法人を目指している。 大阪府精神医療人権センターとの連携は、障がい者課題の次の大きなテーマとするための手がかりとしたい。
	ボラ協 NPOゆめ風基金 NPOセンター NPOちゅうぶ NPOばあとなあ (社福) 草野の根共生会 (社福) ひまわり園 (社福) 奈良県手をつなぐ育英会 (一社) 奈良市手をつなぐ親の会・奈良美鹿の会 大阪府精神医療人権センター BCP研究会 NPO第三連 NPO福医建 JIA福祉部会		

## B: 部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

№	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		成果
1	7月部会	7/20 (土)	議題1~3) 同朋学園・三光塾・和泉幼児院の評価検討 議題4) 参加した普及協議会および指導者研修をふりかえる(情報共有) 議題5) 今後の評価案件 (ゆら・みどり教室、岸和田学園、あおぞら、槻ノ木荘)の検討 議題6) 市民生活総合サポートセンターからの依頼について 議題7) 養成研修・継続研修の受講予定
	8名 ATC事務局(ITM11F)		
2	8月部会	8/17 (土)	報告) 同朋学園の評価の完結(全社協への報告送付) 議題1-6) 進行中の第三者評価検討 和泉幼児院、三光塾、岸和田学園、あおぞら、かしの木園、 ゆら・みどり教室 (その他) 新たな第三者評価受審問い合わせ状況 大阪市一時保護所、そんぼの家、武田塾、公德学園、花の会、らくじ会等
	8名(+オブザーバー1名) 大阪市立社会福祉センター		
3	9月部会	9/7 (土)	議題1) 和泉幼児院の評価をふりかえり、いくつかの難題について議論 ①事業計画等の保護者への周知、②人事考課、③標準的実施方法、 ④新しい社会的養護ビジョン 議題2) 進行中の評価検討 ①ゆら・みどり教室、②岸和田学園・あおぞら、③かしの木園、④槻ノ木荘 議題3) 今後の第三者評価取り組みについて(同朋学園、天王谷学園、阪南福祉事業 会、 かしの木園 議題4) 新しい社会的養護ビジョンについて 資料の読み解き 議題5) りすくのつく 4件の相談依頼への対応について
	8名(+オブザーバー1名) 大阪市立社会福祉センター		
4	10月部会	10/19 (土)	確認事項) 評価進行中案件についてのスケジュール確認ほか 【一時保護所に関する内部研修その1】 1) 大阪市子ども相談センターの概要 2) 平成29根の事業実績および統計
	9名 大阪市立社会福祉センター		
5	11月部会	11/2 (土)	【一時保護所に関する内部研修その2】 1) 前回の振り返り 2) 一時保護ガイドライン 3) 一時保護マニュアル 4) 大阪市における今後の児童虐待防止 5) 性的虐待対応(児童相談所における性的虐待対応ガイドラインより)
	8名 大阪市立社会福祉センター		
6	11月部会	11/16 (土)	議題1) 評価進行案件の検討 ゆら・みどり教室、岸和田学園、あおぞら、槻ノ木荘、かしの木園 議題2) 一時保護所スタディの振り返り
	13名 ちゅうぶ青おに3階会議室		
7	11月部会	11/11 (月)	大阪市中央一保にて 施設見学および一保の現状・課題その他についての実地研修
	13名 大阪市立子ども相談センター	11/13 (水)	
8	12月部会	12/21 (土)	議題1) 評価進行中案件の検討 ゆら・みどり教室、岸あだ学園、あおぞら、槻ノ木荘、かしの木園、 高津学園、信太学園、大阪市一保 議題2) 一時保護所評価について 議題3) 保育所評価について
	11名 大阪市立社会福祉センター		
9	1月部会	1/18 (土)	議題1~3) 評価進行中案件の検討 槻ノ木荘、かしの木園、大阪市一保 議題4) 高取ワークス評価結果に関する奈良県地域福祉課の意見への 対応について 議題5) 保育所評価について 議題6) 休眠会員について
	9名 大阪市立社会福祉センター		

10	2月部会	2/15 (土)	報告) 奈良県地域福祉課との協議経過、評価結果の県ホームページUP 議題1) 評価決定および評価進行中案件の検討 ①岸和田学園、②あおぞら、③高津学園、④信太学園、⑤一保 議題2) 令和2年の部会活動の展望と方針
	8名 大阪市立社会福祉センター		
11	3月部会	3/21 (土)	議題1) 第三者評価、新たな取組について ①博光福祉会(保育所3園)、②武田塾、③天王谷学園、④助松寮 ⑤和泉乳児院、⑥南さくら園、⑦大阪市南部一保、⑧ハートフル大東 ⑨その他;らくじ会、花の会 議題2) 大阪市一保評価を終えて 議題3) 信太学園の評価結果報告に臨んで 議題4) 令和2年度のこむねっと部会活動方針
	8名 大阪市立社会福祉センター		
4月部会・5月部会		休会	コロナ禍の影響を受け、部会開催を自粛
12	6月部会	6/6 (土)	報告) 第三者評価ガイダンス等進行状況その他今後の受審状況 議題1) 新たな取組分野となる第三者評価への対応、評価基準の理解 ①保育所、②乳児院、③母子生活支援施設、④児童心理治療施設 議題2) コロナ禍に対応する、今後の進め方について
	9名 大阪市立社会福祉センター		
13 14	施設見学 12名	6/12 (金)	南さくら園(母子生活支援施設)を事前訪問し、施設見学と園長からのレクチャー(施設の現状と課題、今後の展望について等)を受ける。 弘済のぞみ園(児童心理治療施設)の評価に取り組むにあたり、吹田市のきぼうの杜を見学。施設長からレクチャー(施設の現状と課題、今後の展望について等)を受ける。
	施設見学 5名	6/22 (月)	

こむねっと部会		令和元年度収益費用報告 (R1/7/1～R2/6/30)			
事業・部会 №	事業名	収益	費用	差益	
B-1- 1～12	こむねっと部会 共通経費	①会議室室料	0	15,300	△ 25,310
		②支払手数料	0	10,010	
A1	第三者評価事業	事業収入	3,896,150		353,766
		配分活動費(源泉税込)		2,555,322	
		印刷製本費		488,000	
		旅費交通費		235,100	
		通信費		11,140	
		研修費		32,500	
		雑費		220,322	
	( 小計 )		3,896,150	3,542,384	
A2	地域資源の利活用による障がい者地域生活拠点構想	0	0	0	
A2	SCP事業	0	0	0	
A3	りすくのつく	0	0	0	
A4	外部連携	0	0	0	
合計		3,896,150	3,567,694	328,456	

8.4%

こむねっと部会の期首収支計画では、第三者評価事業で347万円、の収入を見込んでいましたが。決算ではこれを若干上回る約357万円の収益となりました。諸費用をやや圧縮することができたため、収支差額は機首予算の89,329円から328,456円に増大しています。

このように、活動開始15周年を迎えた第三者評価事業については取組件数や、その内容についても充実し、健全な発展を継続しています。

一方、他の取組については、コロナ禍の影響もあって停滞状況にあり、外部連携の取組を見直して、新たな展望を模索すべき段階に入っています。

以上理事長総括以下、事務局報告、各部の活動報告ならびに収支報告について、議長は出席会員に賛否を問うたところ、一同異論なく、拍手をもってこれを承認した。

## 2号議案 令和元年度決算報告

(中北事務局長)

議長は、令和元年度決算を中北事務局長から報告するよう求めた。  
中北事務局長は、以下の資料に沿って、法人の決算状況および財務状況を報告した。

令和元年7月1日から令和2年6月30日まで  
活動計算書

(単位：円)

科目	決算金額		期首予算額	前年決算額
I 経常収支				
<b>1.受取会費</b>				
正会員受取会費	365,000		370,000	365,000
通信会員受取会費	2,000		1,500	1,500
終身通信会員受取会費	0		500	500
学生会員受取会費	1,500		0	0
例会参加受取会費	0		3,000	2,500
受取会費計		368,500	375,000	369,500
<b>2.受取寄附金</b>				
協賛金	0		0	0
受取寄附金	0		0	0
受取寄附金計		0	0	0
<b>3.事業収益</b>				
ふくてっくのつどい	50,000		54,000	177,300
東大阪部会	3,432,470		4,408,000	4,680,180
こむねつと部会	3,896,150		3,470,320	2,834,368
事業収益計		7,378,620	7,932,320	7,691,848
<b>4.その他収益</b>				
受取利息	68		70	66
雑収益	2,209		10,000	43,009
NPO15周年事業参加会費収入			0	
その他収益計		2,277	10,070	43,075
経常収益計			8,317,390	8,104,423
		7,749,397		
II 経常費用				
<b>1.事業費</b>				
(人件費)				
給料、手当(事業)	34,000		150,000	130,000
人件費計		34,000	150,000	130,000
(その他経費)				
材料費	4,470		10,000	11,792
業務委託費	0		0	0
諸謝金	4,889,322		6,141,991	5,106,500
印刷製本費(事業)	495,969		120,000	113,790
会議費(事業)	29,400		45,000	30,800
旅費交通費(事業)	527,269		850,000	834,058
車両費	0		0	2,400
通信運搬費(事業)	15,674		10,000	6,095
消耗品費(事業)	63,900		80,000	77,298
諸会費	0		10,000	
租税公課(事業)	3,000		6,000	2,600
研修費	32,500		70,000	69,400
支払手数料(事業)	21,441		22,000	22,140

雑費	220,322		0	287,815
その他経費計		6,303,267	7,364,991	6,564,688
事業費計		6,337,267	7,514,991	6,694,688
<b>2.管理費</b>				
(人件費)				
給与 手当	181,600		150,000	120,000
通勤費	32,000		32,000	32,000
人件費計		213,600	182,000	152,000
(その他経費)				
諸謝金	22,274		80,000	65,685
印刷製本費	255		2,000	1,383
会議費	55,200		75,000	62,550
旅費交通費	16,780		10,000	10,000
通信運搬費	82,521		63,000	61,401
消耗品費	1,486		10,000	4,166
地代家賃	418,620		412,260	412,260
接待交際費	0		0	0
減価償却費	0		0	0
保険料	29,440		35,840	39,200
諸会費	44,600		10,000	10,000
慶弔費	0		0	0
租税公課	70,008		70,000	70,009
支払手数料	31,298		32,000	30,798
事務用品費 PC購入	0		80,000	0
雑費	131,430		80,000	13,600
その他経費計		903,912	960,100	781,052
管理費計		1,117,512	1,142,100	933,052
経常費用計			7,454,779	8,657,091
当期経常増減額			294,618	△ 339,701
III 経常外収益				
経常外収益計		0	0	0
IV 経常外費用				
経常外費用計		0	0	0
税引前当期正味財産増減額				
当期正味財産増減額			294,618	△ 339,701
前期繰越正味財産額			7,007,443	7,007,443
次期繰越正味財産額			7,302,061	6,667,742

令和元年度は、当初予算において約34万円の赤字を想定していましたが、結果的には逆に約30万円弱の黒字決算となりました。繰越賞味財産額も730万円を超えています。

今期も、東大阪部会の活動収支が70万円強の黒字決算となり、会の堅調な運営維持に寄与しています。また一方、こむねっと部会の第三者評価事業が順調な拡大を遂げ、はじめて東大阪部会の収益を超えました。さらなる発展が期待されます。

しかしながら、コロナ禍をはじめとする社会状況の変化や会員の高齢化等が進んでいます。当会もNPO認証20年が間近になりました。活動の在り方を再検討すべき時期を迎えています。

貸借対照表

令和2年6月30日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,174,144		
流動資産合計		7,174,144	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			7,311,558
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	0		
預り金	9,497		
流動負債合計		9,497	
負債の部合計			9,497
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,007,443	
当期正味財産増減額		294,618	
正味財産の部合計			7,302,061
負債・正味財産の部合計			7,311,558

財産目録

令和2年6月30日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	67,521		
三菱UFJ銀行梅田支店	6,017,121		
ゆうちょ銀行	952,002		
郵便振替口座	137,500		
流動資産合計		7,174,144	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			7,311,558
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	0		
預り金	9,497		
流動負債合計		9,497	
負債の部合計			9,497
正味財産			7,302,061

## 財務諸表の注記

### 1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準協議会）によつてい  
ます。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税の会計処理

消費税は税込経理により処理しています。

### 2.事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

	ふくてつくの つどい	東大阪 部会	こむねつと 部会		事業部門 合計	管理部門 合計	合 計
I経常収益							
1.受取会費					0	368,500	368,500
2.事業収益	50,000	3,432,470	3,896,150		7,378,620		7,378,620
3.その他収益					0	2,277	2,277
経常収益計	50,000	3,432,470	3,896,150		7,378,620	370,777	7,749,397
II経常費用							
1.人件費							
給与・手当	34,000				34,000	181,600	215,600
通勤費					0	32,020	32,020
(人件費計)	34,000	0	0		34,000	213,620	247,620
2.その他費用							
材料費	4,470				4,470		4,470
業務委託費					0		0
諸謝金		2,334,000	2,555,322		4,889,322	22,274	4,911,596
印刷製本費		7,969	488,000		495,969	255	496,224
会議費		14,100	15,300		29,400	55,200	84,600
旅費交通費	21,000	271,169	235,100		527,269	16,760	544,029
車両費					0		0
通信運搬費		4,534	11,140		15,674	82,521	98,195
消耗品費		63,900			63,900	1,486	65,386
地代家賃					0	418,620	418,620
保険料					0	29,440	29,440
諸会費					0	44,600	44,600
租税公課		3,000			3,000	70,008	73,008
研修費			32,500		32,500		32,500
支払手数料		11,431	10,010		21,441	31,298	52,739
雑費			220,322		220,322	131,430	351,752
(その他経費計)	25,470	2,710,103	3,567,694		6,303,267	903,892	7,207,159
経常費用計	59,470	2,710,103	3,567,694		6,337,267	1,117,512	7,454,779
当期経常増減額	△ 9,470	722,367	328,456		1,041,353	△ 746,735	294,618

### 3.固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,588	2
合計	427,590	0	0	427,588	2

パソコン1台 プロジェクター1台

議長は以上の報告について、出席会員の意見を求めたところ、一同異議なく承認した。

監 査 報 告 書

令和2年8月1日

特定非営利活動法人 ふくてつく  
理事長 小川 忠雄 様

監 事 秋岡 安



監 事 稲住 泰広



特定非営利活動法人ふくてつく 定款第34条に基づき、令和元年度における監事監査を令和2年7月27日に実施したところ、次の通りであったので報告します。

- ・法人の財産管理状況 特に問題なし
- ・法人の会計状況 特に問題なし
- ・その他の状況 特に問題なし

# 4号議案 令和2年度 活動計画および収支計画

議長は、続けて各部の次年度事業計画等についての報告を求めた。

## 1. ふくてっくのつどい (小川会員)

ものづくり活動		令和2年度事業計画 (R2/7/1~R3/6/30)	
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
№	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		期待する成果
1	幼稚園親子木工教室	11月予定	園児達に自然木に触れ、工具体験をさせてあげたい。 オリジナル作品作りで創意工夫を養う。
	羽曳野市立幼稚園		
	上記幼稚園 (羽曳野市)		
2	40回池島ふれあいまつり	11/23	恒例の木工自由木工で地域との交流。 自宅で使える、飾れる作品作り。
	社会福祉法人海の子の家		
	池島公園		
3	院内学級木工授業	12月予定	工作授業でものづくり。 木に触れる、香りを木肌を実感してもらう授業を目指して病院内での貴重な体験を記憶に残してほしい。
	あそぼっくる		
	大阪市立総合医療センター		
4	てんかん啓発パ－プﾙDAY	3/21予定	子どもの『てんかん』という病気、症状を知ろう！という啓発イベント。 病を知る機会を使い、自由木工工作に触れてもらう。
	読売		
	長居植物園		
5	共生・共走リレーマラソン	5/23予定	障がい児に工作を体験してもらう。 例年同様、年度最後のふくてっくのものづくり祭り
	(子ども体験コーナー)		
	マツサク 花博鶴見緑地公園		

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
№	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数 場所		期待する成果
1	里山材料調達	3回/年	木工活動の材料調達 丸太輪切りや枝の収集など自然の恩恵を授かる。
	各5名参加予定		
	生駒いいもり山		

ものづくり活動		令和2年度収益予算計画 (R2/7/1~R3/6/30)		
事業・部会 №	事業名	収益	費用	差益
A1	幼稚園親子木工教室	20,000	15,000	5,000
A2	池島ふれあいまつり	25,000	25,000	0
A3	院内学級木工授業	5,000	15,000	△ 10,000
A4	てんかん啓発パ－プﾙDAY	50,000	25,000	25,000
A5	共生・共走リレーマラソン	10,000	20,000	△ 10,000
B1	里山材料調達	0	5,000	△ 5,000
合計		110,000	105,000	5,000

たいけん活動

令和2年度事業計画 (R2/7/1~R3/6/30)

B：部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

№	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数 場所		期待する成果
1	カニご賞味会&交流会 10名参加予定 岡 邸	1回/年	会員間交流 ふくてつくが誇る慰労企画として、会員交流の場として期待する。
2	お花見交流会 10名参加予定 生駒いいもり山	1回/年	会員間交流 自然に触れる慰労企画として、会員交流の場として期待する。

## 2. 東大阪部会

(清水会員)

東大阪部会は、東大阪の委託事業として始まった適正検証事業も15年目に入りました。R2年度から介護保険住宅改修においては、市のスタンスが現場目線から書類優先の対応と大きく舵を取りました。また、事前協議即着工可のシステムが変更され、約1週間という期間において着工の有無を通達することになりました。当会が当初から検証案件と検証外案件の公平性を保つために提案していた事が10年以上経ってやった実行されるようになりました。当会としては、利用者ファーストの考えを基に適正化検証に関わり今年度も継続して事業を展開していきますが、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。検証活動ではコロナ感染防止対策として、担当者の検温・体調チェック、マスク着用、訪問先での消毒等を行い、また、訪問先対象者やご家族・関係者にもマスク着用をお願いしています。東大阪の研修会はR2度から委託事業から切離し、単独の講師依頼に変わり、また、研修会もコロナ感染クラスター防止対策としてにより、8月から11月に変更し実施する予定です。寝屋川市研修会も同じくクラスター防止の為、人数制限や時間短縮を実施する事から介護支援専門員の研修は中止となりました。シルバー新報（新聞）からの東大阪部会活動等掲載依頼については、担当者を決めて執筆する予定です。

東大阪部会		令和2年度事業計画 (R2/7/1～R3/6/30)	
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
№	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		期待する成果
1	東大阪市重度身体障害者住宅改修費助成制度適正検証事業 東大阪市 東大阪市内	R2年 7/1～ R3年 6/30	目的：障害者の住環境のバリアフリー化を促進する。 障害者の住環境が改善され、継続して在宅生活を送る事ができる。 R2/4～R3/3契約：検証23案件、事前相談会12回、書類審査10回
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業 東大阪市 東大阪市内	R2年 7/1～ R3年 6/30	目的：対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。 高齢者の自立した日常生活を継続し、介護者の負担を軽減する。 R2/4～R3/3契約：検証320案件
3	東大阪市介護保険住宅改修研修会 東大阪市 東大阪市内	R2年 11/11 11/18 予備日 11/20	目的：高齢者等の生活の質の向上及び自立を支援する住環境整備のスキルの向上。 高齢者の安心・安全な暮らしを実現すると共に、介護支援専門員の質的向上、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。 ■施工業者登録説明会及び研修会
4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業 寝屋川市 寝屋川市立保健福祉センター	R2年 8/17	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。 施工事業者・介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。 ■給付券方式施工登録事業所研修会 ①10:00～11:00 ②11:30～12:30 ③13:30～14:30 ④15:00～16:00 講師：山本・春岡
5	大阪市住まいの情報センター・出前講座 市民 大阪市内	R2年7月 ～ R3年6月	目的：高齢者やその家族が自立した生活を継続するために必要な住環境改善について知識を有し、主体的に取り組む事を目指す テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」 高齢者の身近なテーマから、住環境改善の知識を有し主体的に住環境整備に関わり、安心・安全な暮らしを継続する。
6	環境新聞社/シルバー新報 福祉関係者 全国		目的：介護保険制度創設から20年、住宅改修は他のサービスに比べてまだまだ有効に利用されていない現状があり、介護支援専門員等に住宅改修が在宅介護や自立支援に有効である事を伝える。 介護支援専門員等が、ケアプランの一環として住宅改修に積極的に関わり、対象者の自立支援や家族等の在宅介護負担軽減につなげる。

## B：部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

№	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数 場所		期待する成果
1	定例部会(月1回開催)	R2年7月 ～ R3年6月	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー 大阪市立社会福祉センター・ ATCふくてつく事務局他	第3土曜 12回	チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する

## R2年度東大阪検証活動 作業担当予定

月	検証活動日	検証記録	改造助成事前相談会		活動予定	部会			ふくてつく定例会	その他活動予定および備考
	介護住介： 木曜 ゴシックは 水曜 改造助成： 第1・3木曜	集積送信	第3木曜	担当	作成連絡	第3土曜	議事進行	記録	発表担当	
7	2.9.16.30	曾我部	7/16	曾我部	7/9 小川	7/18	山本	曾我部	曾我部	
8	6.20.27	磯田	8/20	清水	8/27 山本	8/22	川北	磯田	磯田	
9	3.10.17.24	清水	9/17	磯田	9/10 9/24 川北	9/19	山本	清水	清水	
10	1.8.15.22.29	川北	10/15	川北	10/8 10/22 小川	10/17	川北	山本	川北	
11	5.12.19.26	大塚	11/19	大塚	11/12 11/26 山本	11/21	山本	大塚	大塚	
12	3.10.17.24	小川	12/17	小川	12/10 12/24 川北	12/19	川北	小川	小川	
1	7.14.21.28.	寺岡	1/21	寺岡	1/14 1/28 小川	1/16	山本	寺岡	1/9発表なし	
2	4.18.25.	曾我部	2/18	曾我部	2/25 山本	2/20	川北	磯田	寺岡	
3	4.11.18.25	後藤	3/18	後藤	3/11 3/25 川北	3/13	山本	後藤	鎌田	
4	未定									
5	未定									
6	未定									

※「活動予定/作成・連絡」は、上記以外の活動日は清水が担当。

東大阪部会

令和2年度予算計画 (R2/7/1~R3/6/30)

事業・部会 №	事業名	収益	費用	差益
A-1	東大阪市重度障害者住宅改造費助成制度適 正検証事業	500,000	2,583,000	717,000
			諸謝金 2,200,000	
			印刷製本費 8,000	
			通信運搬費 5,000	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	2,800,000	消耗品費 60,000	5,000
			旅費交通費 280,000	
			会議費 15,000	
			租税公課 3,000	
			支払手数料 12,000	
			105,000	
A-3	東大阪市介護保険住宅改修研修会	110,000	諸謝金 90,000	5,000
			旅費交通費 15,000	
			104,000	
A-4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	108,000	諸謝金 96,000	4,000
			旅費交通費 8,000	
			55,000	
A-5	大阪市住まい情報センター ・出前講座	-	諸謝金 50,000	△ 55,000
			旅費交通費 5,000	
			100,000	
A-6	環境新聞社/シルバー新報	100,000	諸謝金 100,000	0
合 計		3,618,000	2,947,000	671,000

18.5%

諸謝金	2,536,000
旅費交通費	308,000
消耗品費	60,000
印刷製本費	8,000
通信運搬費	5,000
会議費	15,000
租税公課	3,000
支払手数料	12,000

### 3. こむねつと部会

令和2年度事業計画 (R2/7/1～R3/6/30)

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
№	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1-1	第三者評価 ①	R2年 7月～ R3年 6月	大阪府地域福祉推進審議会 福祉サービス第三者評価分科会・同基準等部会 評価機関連絡会
	大阪府推進審議会 大阪府福祉事業財団 評価機関連絡会 第三連		大阪府地域福祉審議会は、数年に亘り開催が滞っている。 基準等部会の開催もなかったが、今年度中に評価基準を改定すべく、ようやく8/24に基準等部会が開催される。大阪府社協に代わり養成研修・継続研修の委託先となった大阪府福祉事業団へは講師として協力を継続します。 連絡会の代表幹事役は当分バトンタッチできそうもありません。
	全国		第三連（第三者評価調査者連絡会）への参加協力を通じて評価機関のネットワークと、評価活動の広域化に寄与していきます。
1-2	第三者評価 ②	R2年 7月～ R3年 6月	ふくてつく第三者評価事業の拡大発展
	評価機関体制整備と 評価の取り組み		今年度は令和3年3月を期限とする社会的養護関係施設受審第3クールに当たっている。 春以降、既に7件の受注契約をし、秋以降の訪問調査に向けて準備を進めてきた。その中でコロナ禍に伴う制約と課題が大きく、その後の受審の動きは勢いを減じているが、厚労省においても期限の1年延長をまもなく公式に通知すると聞いている。 結果として第3クール期末の集中が分散されることになり、当会としては好ましい展開と言える。無理に受注件数の増加を求めず、新規領域（乳児院、児童心理治療施設、母子生活支援施設、そして保育所）への取組にしっかりと精力を注入したい。 評価調査者も現在16名となるが、本務との調整が必要なメンバー、その他の事情でフル活動とはいかないメンバーもあり、今後は無理のない範囲で、評価調査者としての資質の保持・向上やチームとしての評価理念の共有を図りつつ、効率よく、また依頼法人の期待に応える活動を継続していくための体制を構築する。そのために、事務局機能の分散や情報共有の合理化を進めたい。 評価に先立つ研修への講師派遣に活動を拡大することを目して、ガイダンス担当の分散あるいはチームによる取組も図ってゆきたい。
1-3	第三者評価 ③	R2年 7月～ R3年 6月	具体（複数）の評価活動を実施する。
	具体の第三者評価 大阪・兵庫・奈良 の各府県		児童養護施設：天王谷学園、武田塾、助松寮、弘濟みらい園 児童心理治療施設：弘濟きぼう園 母子生活支援施設：南さくら園 知的障害者支援施設：ハートフル大東の全施設（まずは第三者評価基準研修） 保育所受審検討：博光福祉会つばさ3園、しらゆり保育園、くじら保育園
2	SCP研究会	R2年 7月～ R3年 6月	BCP研が企図している課題（災害時およびその直後）の安心・安全とは、当会の設定する課題（本来の「事業継続性」）とが、若干異なることに鑑み、今後はBCP研との連携は保ちつつ、当会独自の活動方針を確立していく。
	ゆめ風基金、 ばあていばあてい他 （福祉事業の継続性）  概ね大阪府下		①施設のハード面の維持管理・機能保全を中核とする実業 （非日常のリスク要因調査・改修企画、設計及びその事業化のプロデュース） ②コロナ禍など、新たな課題の日常化に伴う事業継続リスク要因の調査・分析 ③益々重度化・重層化する福祉課題と、その一方で人材確保・育成に係る今日的な課題 ④「福祉のまちづくり」でなく「福祉でまちづくり」は可能か？ 地域福祉とまちづくり（市民活動と福祉力、文化）の再構築
3	医療・福祉事業環境整備 （施設環境の継続性）	R2年 7月～ R3年 6月	以前の構想「地域資源活用による障害者の生活基盤整備」を吸収 障がい者の地域生活支援（当たり前の生活：居住福祉論） リーズナブルな「すまい」の提供（税金をあてにしない、経済的に手の届く） 建基法・消防法その他法令の弾力的運用に向けて・・・ 公的助成の誘導に向けて・・・
	医療・福祉事業法人 大阪を中心とする近畿圏		まずは、知的障害者を念頭に、そして身体障害、精神障害者も
4	りすくのつく	R2年 7月～ R3年 6月	災害発生時における障がい者生活空間の安全化を支援
	障がい者個人および その支援団体等 （ゆめ風基金との連携）  概ね大阪府下		事業目的を再考する。（当事者が求めるものは何か？） 普遍化できる事業とするには？ （「夢かぜ+ふくてく」でなくてもできる事業に） ・・・広く、№2あるいは№3に吸収するのむひとつ

福祉サービス第三者評価事業は、評価機関認証15年を経てようやく活動として定着しました。多くの機関が現れ（累計56!）、そして消え・・・、（現存する機関はわずか18!）いつも間にか、ふくてつくは大阪の評価機関の中核と自負できる存在となっています。まだまだ第三者評価は未開拓の領域が膨大で、これからが本番と考えられます。№2～4の構想は、相互に関連しており、一向にかたちを見ないまま、長年温め続けてきました。第三者評価がそうであったように、どこかに芽をふかすことができれば、いつか開花するでしょう。あわてず・あせらず・あきらめず・・・

B：部会活動		(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)	
№	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1	7月部会	7/18	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者10名 大阪市立社会福祉センター		①武田塾・和泉乳児院のアンケート分析、自己評価の傾向分析 ②児童心理治療施設、乳児院、母子生活支援施設についての学習
2	8月部会	8/22	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 大阪市立社会福祉センター		研修会「保育所の第三者評価について」 講師：角谷洋子会員
3	9月例会	9/19	未定
	大阪市立社会福祉センター		
4	10月部会	10/17	未定
	第三者評価調査者 大阪市立社会福祉センター		
6	11月部会	11/21	未定
	大阪市立社会福祉センター		
7	12月部会	12/19	R2年度上半期をふり返る
	大阪市立社会福祉センター		
8	1月部会	1/16	未定
	大阪市立社会福祉センター		
9	2月部会	2/20	未定
	未定		
10	3月部会	3/20	未定
	未定		
11	4月部会	4/17	未定
	未定		
12	5月部会	5/15	未定
	未定		
13	6月部会	6/19	R2年度をふり返る
	未定		

第三者評価は、件数の増加とともに、各案件の評価に携わるメンバーは少数に絞っていく（従来5～6名から3～4名へ）ことが必然です。従って、評価に係る検討は部会ではなく、担当メンバー間に委ねることを基本とし、部会はその承認（決定委員会機能）と、情報の共有と研鑽の場としていきます。また、第三者評価以外のテーマについて議論する時間を増やして、多くの会員が関われる場としていきます。

こむねっと部会		令和2年度収支計画 (R2/7/1~R3/6/30)			
事業・部会 №	事業名	収益	費用	差益	
A1-1	第三者評価 審議会・連絡会・第三連	0	6,000	△ 6,000	
福祉サービス 第三者評価事 業実務	武田塾（地域小規模3園含む）	412,500	活動費配分（88%） 363,000	49,500	
	天王谷学園	335,500	活動費配分（88%） 295,240	40,260	
	和泉乳児院	308,000	活動費配分（88%） 271,040	36,960	
	助松寮	330,000	活動費配分（88%） 290,400	39,600	
	南さくら園	330,000	活動費配分（88%） 290,400	39,600	
	弘済みらい園・のぞみ園	616,000	活動費配分（88%） 542,080	73,920	
	その他（今後受注分）	1,320,000	活動費配分（88%） 1,161,600	158,400	
	以上計	3,652,000	3,213,760	438,240	
	研修費		80,000	△ 80,000	
A1-2	第三者評価研修への講師派遣その他	55,000	活動費・諸経費 49,500	5,500	
A2	地域資源活用障がい者地域生活拠点構想	0	活動費・諸経費 0	0	
A3	SCP（BCP）	0	活動費・諸経費 0	0	
A4	医療・福祉施設環境保全 （特建調査を含む）	0	業務委託費 活動費・諸経費 0	0	
A5	りすくのつく	0	活動費・諸経費 20,000	△ 20,000	
共通	各種活動、ネットワーク構築	0	50,000	△ 50,000	
共通	情報発信・資料印刷経費	0	40,000	△ 40,000	
共通	会議費	0	30,000	△ 30,000	
合計		3,707,000	3,489,260	217,740	

5.9%

R2年度の第三者評価の受審契約は、春先から昨年を上回るペースで進みましたが、その後はコロナ禍の影響か、協議中の案件も慎重な対応となっています。

現在、3法人7か所の相談対応していますので、うち4件程度を予算化しました。

A1-2の研修折組は既に確定しており、その本受審がR3年6月までに終了すればこれも収益に加算されます。

A2以降の事業については、収益が確実視できませんので、基本的な経費計上のみ留めています。

議長は、以上各部の活動計画および収支予定について、意見を求めたところ、一同異議なく承認した。

## 5号議案 令和2年度 活動予算計画

議長は、令和2年度の活動予算計画について、中北事務局長より報告を求めた。  
中北事務局長は、以下の諸表にそって活動予算計画を報告した。

令和2年7月1日から令和3年6月30日まで  
活動計算書

単位：円

科目	金額		前年決算額
<b>I 経常収支</b>			
<b>1.受取会費</b>			
正会員受取会費	180,000		365,000
通信会員受取会費	2,000		2,000
学生会員受取会費	0		0
例会参加受取会費	1,500		1,500
受取会費計	183,500		368,500
<b>2.事業収益</b>			
ふくてっくのつどい	110,000		50,000
東大阪部会	3,618,000		3,432,470
こむねっと部会	3,707,000		3,896,150
事業収益計	7,435,000		7,378,620
<b>3.その他収益</b>			
受取利息	70		68
雑収益 (事業継続給付)	2,500,000		2,209
その他収益計	2,500,070		2,277
経常収益計		10,118,570	7,749,397
<b>II 経常費用</b>			
<b>1.事業費</b>			
(人件費)			
給料、手当 (事業)	150,000		34,000
人件費計	150,000		34,000
(その他経費)			
材料費	10,000		4,470
業務委託費	0		0
諸謝金	5,100,000		4,889,322
印刷製本費(事業)	500,000		495,969
会議費 (事業)	35,000		29,400
旅費交通費 (事業)	600,000		527,269
通信運搬費 (事業)	20,000		15,674
消耗品費 (事業)	80,000		63,900
諸会費	20,000		
租税公課 (事業)	6,000		3,000
研修費	70,000		32,500
支払手数料 (事業)	22,000		21,441
雑費	0		0
その他経費計	6,463,000		6,303,267
事業費計		6,613,000	6,337,267
<b>2.管理費</b>			
(人件費)			
給与 手当	182,000		181,600
通勤費	32,000		32,000
人件費計		214,000	213,600

(その他経費)			
諸謝金	45,000		22,274
印刷製本費	2,000		255
会議費	75,000		55,200
旅費交通費	20,000		16,780
通信運搬費	85,000		82,521
消耗品費	10,000		1,486
地代家賃	420,000		418,620
接待交際費	0		0
減価償却費	0		0
保険料	30,000		29,440
諸会費	45,000		44,600
慶弔費	0		0
租税公課	70,000		70,008
支払手数料	32,000		31,298
事務用品費	80,000		0
雑費	20,000		131,430
その他経費計		934,000	903,912
管理費計			1,148,000
経常費用計			7,761,000
当期経常増減額			2,357,570
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			
当期正味財産増減額			2,357,570
前期繰越正味財産額			7,302,061
次期繰越正味財産額			9,659,631

3部会の事業計画および収支予算書を統合し、管理部門経費については、過年度の傾向を踏襲してまとめています。

コロナ禍に伴う、事業継続給付金が得られますので、大きく黒字予算となりました。

議長は、以上の報告について意見を求めたところ、一同異議なくこれを承認した。

## 6号議案 会費改定の件

議長は、同日午前で開催した理事会において会員の年会費を改定する旨の緊急動議が可決採択されたことを報告し、その理由等を以下の通り説明した。

1. 会員が負担する年会費は、本会運営上の固定費用の一部を賄うものであるが、本会では、各部会の順調な活動のかいあって、すでに多額の繰越資産を有するに至っている。
2. 会員は会費を負担することによって、当会の活動に参加する権利を有するものであるが今日のコロナ禍による活動制限が長期化することが避けられず、その金額設定に合理性が失われつつある。
3. 現会員が長く活動参加できるよう、また新たな会員には参加しやすくなるよう会費を減額することが妥当である。
4. 以上の理由により、正会員の年会費を5,000円に、学生会員の年会費を1,000円に減額する。通信会員の年会費500円は据え置く。
5. この改定は、令和2年度会費より適用する。

以上の説明の後に、議長は出席会員から意見を求めたところ

将来、再び会費を増額する必要が生じた際に、増額の改定が難しくなるのではないかという発言があったが、過去に会費を増額した際の経緯にも問題がなかったことや、現在の財政事情から当分の間は増額の必要もないことなどが指摘され、一同異論なく承認した。

議長は以上をもって、予め用意したすべての審議を終了したことを述べ、他に動議がないことを確認したうえで、14：50に閉会を宣言した。

以上の議事録に相違ありません。

議長 小川 忠雄 印

議事録署名人 後藤 秀樹 印

寺岡 春恵 印